

# 酒田出張所ニュース

平成28年11月17日発行



## 油流出事故に備えた訓練実施

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えています。その多くが人的ミス（給油の際にホームタンクから離れたりするなど）によるものです。

これから本格的な冬を迎えるにあたり、暖房器具で灯油を取り扱う機会が増えます。そこで、最上川水系水質汚濁対策連絡協議会では、11月8日（火）、最上郡舟形町内の最上小国川で「オイルフェンス組立設置等訓練」を実施しました。訓練には、国土交通省、山形県、最上川流域の市町村、東北電力などから担当職員他、維持業者などおよそ100名が参加し、油流出事故発生元での油回収とオイルフェンスの組立・設置及び吸着マットによる回収訓練を実施し、迅速で確実な事故対応技術を習得しました。

もし、事故を起こした場合や発見した場合、お近くの消防署・警察署、市町村役場、国や県の機関等へご連絡下さい。



オイルフェンス設置訓練



水路での油回収訓練

## 堤防の草刈機を更新

河川堤防を適正に維持管理するためには、堤防の除草作業が必要です。除草をすることで堤防の危険箇所の点検及び発見を容易にするとともに出水時の水防活動が容易となり、また景観の維持を図ることが出来ます。

酒田出張所が管理している最上川下流と京田川では、毎年2回堤防除草をしており、その面積は今年度で1,000,000㎡/回を超えています（大型遠隔操縦式では、このうち半分程度を除草しています）。これは、東京ドーム21個分以上の広大な敷地に相当する面積です。

これまでの草刈機は、平成13年度に導入され、これまで最上川下流で15年間にわたって7,600時間以上堤防除草他で稼働しました。

今年度の除草作業は終了しましたが、例年5月から10月頃に掛けて作業に取り掛かります。期間中は河川敷を散策される方などには、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご理解ご協力をお願いします。



H28.11.2に納入された新しい草刈機

### ★基本仕様

規格・形式	大型遠隔操縦式
機体寸法	全長 4,390mm 全幅 2,040mm 全高 1,260mm 最低地上高 200mm
車両総重量	2,800kg
性能	最大法面角度 40度(1:1.2) 走行速度 0~6.5km/h
機関	エンジン 4気筒水冷ディーゼル 定格出力 49.1kw(66.8ps)



ラジコンにより草刈機を操作

これまで大活躍した草刈機

機械で出来ない箇所は肩掛式で除草



### 《主な機能》

- ・遠隔操作（ラジコン式）で行うため、万一転倒時の危険が回避できる。
- ・前後進刈りが可能であり堤防法面での旋回が不要となり、作業効率が良い。
- ・草刈作業による堤防法面の損傷を減らすことができる。
- ・車高が低く低重心のため車体が安定。
- ・従来、人手に頼っていた急斜面での機械刈りが可能。
- ・草刈装置から集草装置へ1人で短時間に簡単に交換でき、効率的な運用に。

## 編集後記

手洗いうがい、マスク着用、部屋を適度な湿度に保つなどの予防は行っていますか？本格的に寒くなってきたので、体調管理に気を付けましょう！

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所 酒田出張所  
 山形県酒田市山居町2丁目12-14  
 TEL 0234-22-3604  
 FAX 0234-22-4314  
 URL <http://www.thr.mlit.go.jp/sakafa>

←携帯電話「川の防災情報」はここからアクセスできます。  
<http://river.go.jp/>